



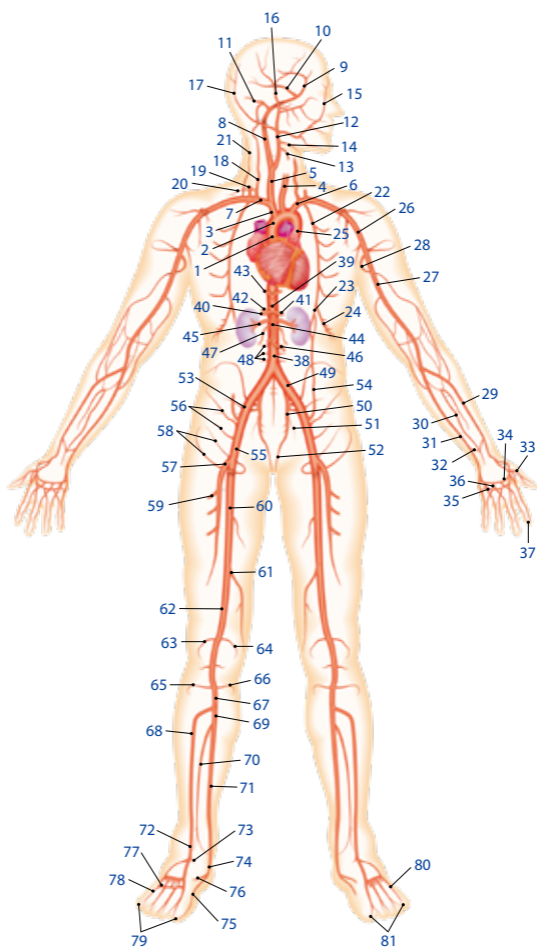
**EVT** endovascular  
treatment  
pocket guide  
ポケットガイド



## 目次

全身／ 頸部・胸部動脈	動脈アトラス ～全身～	4
	動脈アトラス ～頸部および胸部～	6
	動脈アトラス ～冠動脈～	8
腎動脈	腎動脈狭窄の治療と適応 ～JCS 2009～	12
	腎動脈狭窄の指標	14
腸骨動脈	動脈アトラス ～腸骨動脈～	16
	大動脈腸骨動脈病変のTASC II分類	17
下肢動脈	動脈アトラス ～浅大腿動脈～	18
	正常膝窩動脈の分岐	19
	大腿膝窩動脈病変のTASC II分類	20
	下肢虚血の定義(TASC II Definition)	21
	間歇性跛行の治療アルゴリズム	22
	WIQ(Walking Impairment Questionnaire)	23
	閉塞性動脈硬化症(ASO)の重症度分類	24
	急性下肢虚血(ALI)の評価と治療	26
	末梢動脈疾患患者の評価基準	27
アンギオソム(Angiosome)	30	
用語集	用語集	32
	圧力表示換算表	40

# 動脈アトラス ～全身～



## 頭頸部と胸部

- 1 上行胸部大動脈
- 2 大動脈弓
- 3 腕頭動脈
- 4 左総頸動脈
- 5 右総頸動脈
- 6 左鎖骨下動脈
- 7 右鎖骨下動脈
- 8 (右)内頸動脈
- 9 前大脳動脈
- 10 中大脳動脈
- 11 後大脳動脈
- 12 (右)外頸動脈
- 13 上甲状腺動脈
- 14 舌動脈
- 15 顔面動脈
- 16 浅側頭動脈
- 17 後頭動脈
- 18 椎骨動脈
- 19 甲状頸動脈
- 20 頸横動脈
- 21 肋頸動脈
- 22 内胸動脈
- 23 上腹壁動脈
- 24 筋横隔動脈
- 25 下行胸部大動脈

## 上肢

- 26 腋窩動脈
- 27 上腕動脈
- 28 上腕深動脈
- 29 橈骨動脈
- 30 骨間動脈
- 31 尺骨動脈
- 32 掌側手根動脈網
- 33 母指主動脈
- 34 深掌動脈弓
- 35 浅掌動脈弓
- 36 掌側中手動脈
- 37 固有掌側指動脈

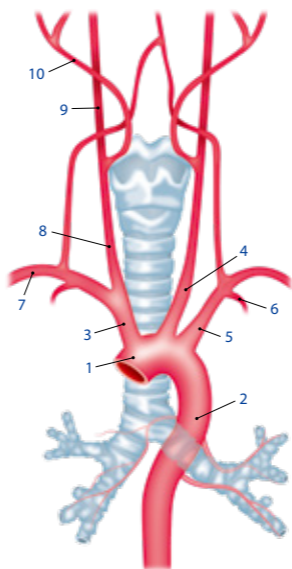
## 腹部

- 38 腹大動脈
- 39 腹腔動脈
- 40 総肝動脈
- 41 脾動脈
- 42 左胃動脈
- 43 下横隔動脈
- 44 上腸間膜動脈
- 45 右腎動脈
- 46 下腸間膜動脈
- 47 精巣 or 卵巢動脈
- 48 腰動脈
- 49 総腸骨動脈
- 50 内腸骨動脈
- 51 閉鎖動脈
- 52 陰茎背動脈
- 53 外腸骨動脈
- 54 下腹壁動脈

## 下肢

- 55 総大腿動脈
- 56 深、浅腸骨回旋動脈
- 57 大腿深動脈
- 58 内、外側大腿回旋動脈
- 59 穿通動脈
- 60 浅大腿動脈
- 61 内転筋管
- 62 膝上膝窩動脈
- 63 外側上膝動脈
- 64 内側上膝動脈
- 65 外側下膝動脈
- 66 内側下膝動脈
- 67 膝下膝窩動脈
- 68 前脛骨動脈
- 69 後脛骨腓骨動脈幹
- 70 腓骨動脈
- 71 後脛骨動脈
- 72 足背動脈
- 73 外側足根動脈
- 74 総足底動脈
- 75 内側足底動脈
- 76 外側足底動脈
- 77 足底動脈弓
- 78 底側中足動脈
- 79 足底趾動脈
- 80 背側中足動脈
- 81 背側趾動脈

## 動脈アトラス ～頸部および胸部～



1 大動脈弓  
aortic arch

2 下行胸部大動脈  
descending thoracic aorta

3 腕頭動脈  
brachiocephalic artery

4 左総頸動脈  
left common carotid artery

5 左鎖骨下動脈  
left subclavian artery

6 内胸動脈  
internal thoracic artery

7 右鎖骨下動脈  
right subclavian artery

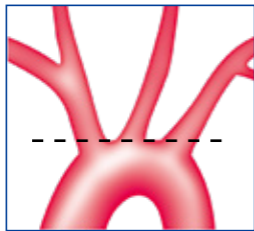
8 右総頸動脈  
right common carotid artery

9 内頸動脈  
internal carotid artery

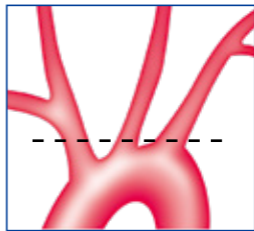
10 外頸動脈  
external carotid artery

## 大動脈弓の形態分類

Type I



Type II

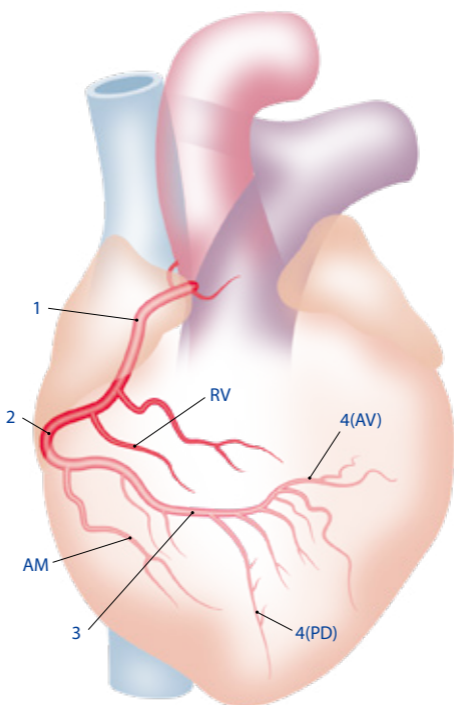


Type III



# 動脈アトラス ～右冠動脈(RCA)～

## 左前斜位(LAO)



1 右冠動脈<近位部>  
R. coronary artery proximal  
(RCA proximal)

2 右冠動脈<中央部>  
R. coronary artery middle  
(RCA middle)

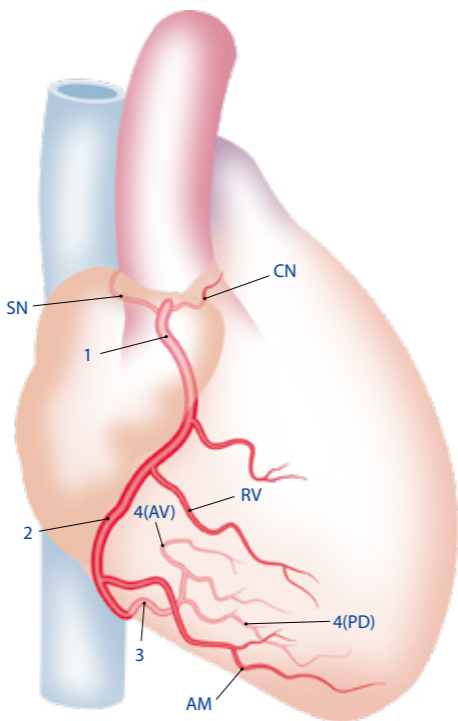
3 右冠動脈<末端部>  
R. coronary artery distal  
(RCA distal)

4 房室結節動脈  
AV node artery (AV)

4 後下行枝  
posterior descending branch (PD)



## 右前斜位(RAO)



**SN** 洞結節動脈  
sinus node artery (SN)

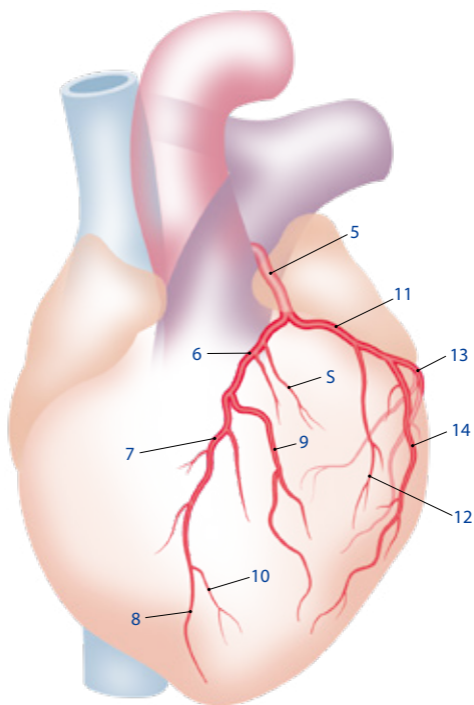
**CN** 円錐動脈  
conus artery (CN)

**RV** 右室枝  
right ventricular branch (RV)

**AM** 銳角枝  
acute marginal branch (AM)

# 動脈アトラス ～左冠動脈(LCA)～

## 左前斜位(LAO)



5 左冠動脈主幹部  
left main trunk (LMT)

6 左前下行枝<近位部>  
L. anterior descending branch proximal  
(LAD proximal)

7 左前下行枝<中央部>  
L. anterior descending branch middle  
(LAD middle)

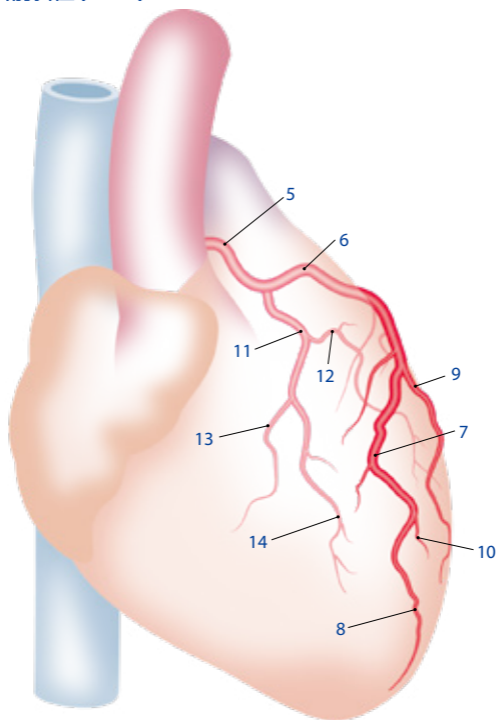
8 左前下行枝<末端部>  
L. anterior descending branch distal  
(LAD distal)

9 第一対角枝  
1st diagonal branch (D1)

10 第二対角枝  
2nd diagonal branch (D2)

S 中隔枝  
septal branch (S)

## 右前斜位(RAO)



11 左回旋枝<近位部>  
L. circumflex branch proximal  
(LCX proximal)

12 鈍縁枝  
obtuse marginal brach (OM)

13 左回旋枝<末端部>  
L. circumflex branch distal  
(LCX distal)

14 後側壁枝  
postero lateral branch (PL)

# 腎動脈狭窄(RAS)の治療と適応～

## 治療方針\*1

### 薬物療法

クラス I	アンジオテンシン変換酵素阻害薬(ACE阻害薬)が有効(エビデンスレベルA)
	アンジオテンシン受容体拮抗薬(ARB)が有効(エビデンスレベルB)
	カルシウム拮抗薬が有効(エビデンスレベルA)
	$\beta$ 遮断薬が有効(エビデンスレベルA)

### 血行動態的に有意な腎動脈狭窄患者に対する 血行再建術の適応

#### 【無症候性狭窄】

クラス IIb	RASに対する経皮的血行再建術は、血行動態的に有意なRAS*2を有する無症候性の両側腎、または機能を営む可能性のある単腎(腎の長径が7cm超)の治療として考慮してもよい(エビデンスレベルC)
	機能を営む可能性のある腎(腎の長径が7cm超)において、無症候性の血行動態的に有意な片側RASに対する経皮的血行再建術の有用性は十分に確立されておらず、現在では臨床的に証明されていない(エビデンスレベルC)

#### 【高血圧】

クラス IIa	RASに対する経皮的血行再建術は、血行動態的に有意なRASを有し、増悪する高血圧、治療抵抗性高血圧、悪性高血圧、原因不明の片側萎縮腎を伴う高血圧、薬剤不耐性高血圧患者に対し妥当な治療法である(エビデンスレベルB)
------------	--

#### 【腎機能保護】

クラス IIa	RASに対する経皮的血行再建術は、両側のRASまたは機能している単腎のRASを伴う進行性慢性腎疾患患者に対し妥当な治療法である(エビデンスレベルB)
クラス IIb	RASに対する経皮的血行再建術は、片側性RASを伴う慢性腎不全患者に対し考慮してもよい治療法である(エビデンスレベルC)

#### 【うっ血性心不全と不安定狭心症】

クラス I	RASに対する経皮的血行再建術は、血行動態的に有意なRASを有し、全患者、または突然発症した原因不明の肺水腫患者に対して適応がある(エビデンスレベルB)
クラス IIa	RASに対する経皮的血行再建術は、血行動態的に有意なRASを有する不安定狭心症患者に妥当な治療法である(エビデンスレベルB)

## 治療手技

## RASに対するカテーテルインターベンション

クラス I	腎動脈ステント留置術は、インターベンションの臨床適応基準に合致する入口部の動脈硬化性RASに対し適応がある（エビデンスレベルB）
	バルーン血管形成術（必要時はステント留置術を行う）は、FMD病変の治療に勧められる（エビデンスレベルB）

## RASに対する外科手術

外科的血行再建術は以下の患者に適応がある。

クラス I	インターベンションの臨床適応基準（カテーテル治療と同じ）に合致するFMDによるRAS病変の患者、特に区域動脈におよぶ複雑病変、動脈瘤を有する場合（エビデンスレベルB）
	インターベンションの臨床適応基準に合致する動脈硬化性RAS病変の患者、特に複数の小口径腎動脈のRAS、あるいは早期に枝分かれする一次分枝におよぶRAS（エビデンスレベルB）
	動脈硬化性RAS患者で傍腎動脈血行再建術（大動脈瘤、または重症大動脈腸骨動脈閉塞症の手術）が行われる場合（エビデンスレベルC）

\*1 腎動脈狭窄（RAS:renal artery stenosis）の治療の柱は、薬物による降圧療法、血行再建術、動脈硬化リスクの軽減の3つである。

\*2 血行動態的に有意なRASとは以下の場合をいう。

- (1) 直径50%以上70%までの狭窄で、圧較差が収縮期で20mmHg以上、または平均で10mmHg以上（5Fr.以下のカテーテルまたは圧測定ワイヤーによる）
- (2) 直径70%以上の狭窄
- (3) 血管内超音波で直径70%以上の狭窄

# 腎動脈狭窄の指標

## 腎動脈ドプラ法で使用する血流指標

### ■ Peak Systolic Velocity(PSV)

収縮期最大血流速度

### ■ End Diastolic Velocity(EDV)

拡張末期血流速度

### ■ Renal to Aortic Ratio(RAR)

腎動脈PSV／大動脈PSV比

$$RAR = \frac{\text{Peak Systolic Velocity}}{\text{Aortic Velocity}}$$

### ■ Resistive Index(RI)

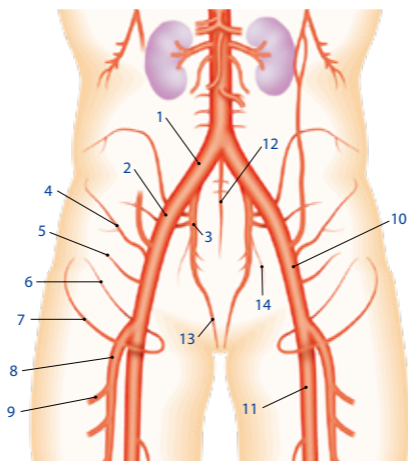
$$RI = (V_{\max} - V_{\min}) / V_{\max}$$

## 超音波検査法による腎動脈狭窄の程度と血流速度

狭窄率	
0-59%	$RAR < 3.5$ and $PSV < 200\text{cm/s}$
60-99%	$RAR \geq 3.5$ and $PSV > 200\text{cm/s}$
80-99%	$RAR < 3.5$ and $EDV < 150\text{cm/s}$
閉塞	—



## 動脈アトラス ～腸骨動脈～



1 総腸骨動脈  
common iliac artery

2 外腸骨動脈  
external iliac artery

3 内腸骨動脈  
internal iliac artery

4 深腸骨回旋動脈  
deep circumflex iliac artery

5 浅腸骨回旋動脈  
superficial circumflex iliac artery

6 内側大腿回旋動脈  
medial circumflex femoral artery

7 外側大腿回旋動脈  
lateral circumflex femoral artery

8 大腿深動脈  
deep femoral artery

9 穿通動脈  
perforating artery

10 総大腿動脈  
common femoral artery

11 浅大腿動脈  
superficial femoral artery


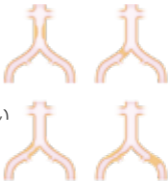

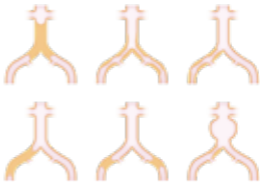
12 正中仙骨動脈  
median sacral artery

13 陰茎背動脈  
dorsal penis artery

14 閉鎖動脈  
obturator artery

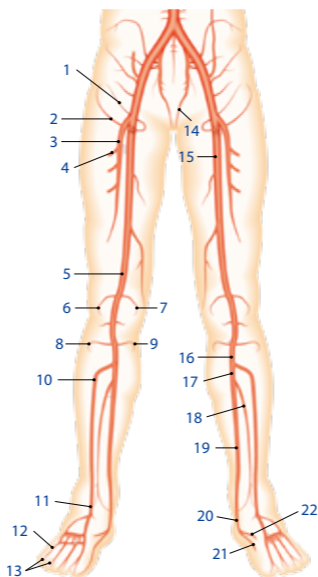


# 大動脈腸骨動脈病変のTASC II分類

分類	定義
<b>A型</b>	<p><b>血管内治療が選択治療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● CIAの片側あるいは両側狭窄</li> <li>● EIAの片側あるいは両側の短い(≤3cm)の単独狭窄</li> </ul> 
<b>B型</b>	<p><b>血管内治療が好ましい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 腎動脈下部大動脈の短い(≤3cm)狭窄</li> <li>● 片側CIA閉塞</li> <li>● CFAには及んでいないEIAでの3~10cmの単独あるいは多発性狭窄</li> <li>● 内腸骨動脈またはCFA起始部を含まない片側EIA閉塞</li> </ul> 
<b>C型</b>	<p><b>ハイリスク患者のみ血管内治療が選択</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 両側CIA閉塞</li> <li>● CFAには及んでいない3~10cmの両側EIA狭窄</li> <li>● CFAに及ぶ片側EIA狭窄</li> <li>● 内腸骨動脈および/またはCFA起始部の片側EIA閉塞</li> <li>● 内腸骨動脈および/またはCFA起始部あるいは起始部でない、重度の石灰化片側EIA閉塞</li> </ul> 
<b>D型</b>	<p><b>外科手術が選択治療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 腎動脈下部大動脈腸骨動脈閉塞</li> <li>● 治療を要する大動脈および腸骨動脈のびまん性病変</li> <li>● 片側CIA、EIAおよびCFAを含むびまん性多発性狭窄</li> <li>● CIAおよびEIA両方の片側閉塞</li> <li>● EIAの両側閉塞</li> <li>● 治療を有するがステントグラフト内挿術では改善がみられないAAA患者、あるいは大動脈または腸骨動脈外科手術を要する他の病変をもつ患者の腸骨動脈狭窄</li> </ul> 

CIA: 総腸骨動脈、EIA: 外腸骨動脈、CFA: 総大腿動脈、AAA: 腹部大動脈瘤

# 動脈アトラス ～浅大腿動脈～



1 内側大腿回旋動脈  
medial circumflex femoral artery

2 外側大腿回旋動脈  
lateral circumflex femoral artery

3 大腿深動脈  
deep femoral artery

4 穿通動脈  
perforating artery

5 膝上膝窩動脈  
above-knee popliteal artery

6 外側上膝動脈  
lateral superior genicular artery

7 内側上膝動脈  
medial superior genicular artery

8 外側下膝動脈  
lateral inferior genicular artery

9 内側下膝動脈  
medial inferior genicular artery

10 前脛骨動脈  
anterior tibial artery

11 足背動脈  
dorsalis pedis artery

12 底側中足動脈  
plantar metatarsal artery

13 足底趾動脈  
plantar digital artery

14 陰茎背動脈  
dorsal penis artery

15 浅大腿動脈  
superficial femoral artery

16 膝下膝窩動脈  
below-knee popliteal artery

17 後脛骨腓骨動脈幹  
posterior tibioperoneal trunk

18 腓骨動脈  
peroneal artery

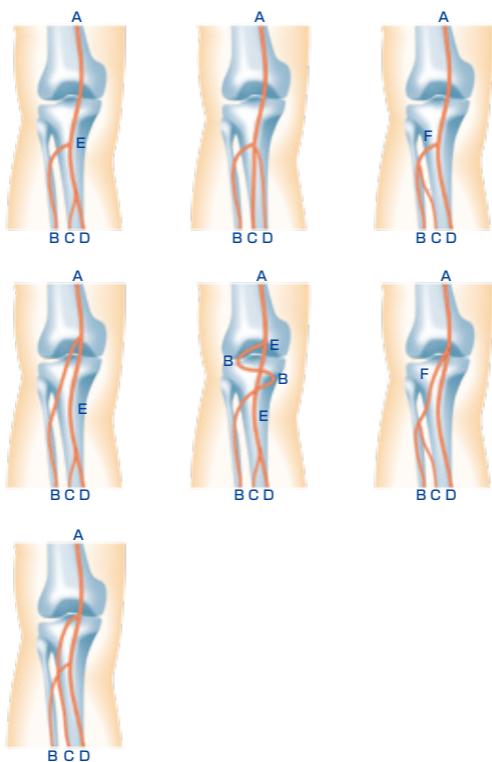
19 後脛骨動脈  
posterior tibial artery

20 総足底動脈  
common plantar artery

21 内側足底動脈  
medial plantar artery





22 外側足底動脈  
lateral plantar artery

# 正常膝窩動脈の分岐



- |                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| <b>A</b> : 膝窩動脈     | popliteal artery              |
| <b>B</b> : 前脛骨動脈    | anterior tibial artery        |
| <b>C</b> : 腓骨動脈     | peroneal artery               |
| <b>D</b> : 後脛骨動脈    | posterior tibial artery       |
| <b>E</b> : 後脛骨腓骨動脈幹 | posterior tibioperoneal trunk |
| <b>F</b> : 前脛骨腓骨動脈幹 | anterior tibioperoneal trunk  |

# 大腿膝窩動脈病変のTASC II分類

分類	定義
A型	<p><b>血管内治療が選択治療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単独狭窄<math>\leq 10</math>cm長さ</li> <li>● 単独閉塞<math>\leq 5</math>cm長さ</li> </ul> 
B型	<p><b>血管内治療が好ましい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 多発性病変(狭窄または閉塞)、各<math>\leq 5</math>cm</li> <li>● 膝下膝窩動脈を含まない<math>\leq 15</math>cmの単独狭窄または閉塞</li> <li>● 末梢神経バイパスの流入を改善するための脛骨動脈に連続性をもたない単独または多発性病変</li> <li>● 重度の石灰化閉塞<math>\leq 5</math>cm長さ</li> <li>● 単独膝窩動脈狭窄</li> </ul> 
C型	<p><b>ハイリスク患者のみ血管内治療が選択</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 重度の石灰化があるかあるいはない、全長<math>&gt; 15</math>cmの多発性病変または閉塞</li> <li>● 2回の血管内インターベンション後に、治療を要する再発狭窄または閉塞</li> </ul> 
D型	<p><b>外科手術が選択治療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● CFAまたはSFA(<math>&gt; 20</math>cm、膝窩動脈を含む)の慢性完全閉塞</li> <li>● 膝窩動脈および近位3分枝血管の慢性完全閉塞</li> </ul> 

CFA: 総大腿動脈、SFA: 浅大腿動脈

## 下肢虚血の定義(TASC II Definition)

### 重症下肢虚血(CLI:Critical Limb Ischemia)の臨床的定義

重症下肢虚血という用語は、客観的に証明された動脈閉塞疾患に起因する慢性虚血性安静時疼痛、潰瘍あるいは壊疽を有するすべての患者に対して用いられるべきである。

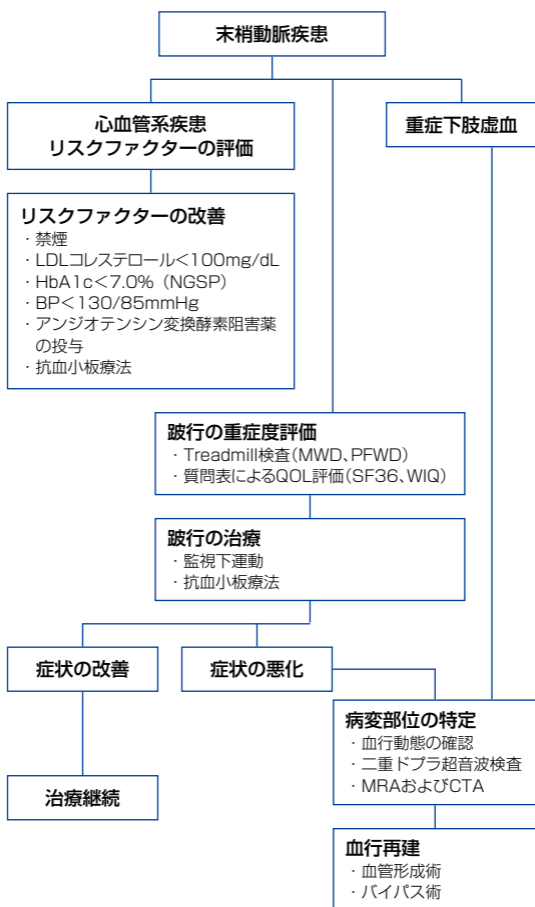
CLIという用語は、慢性疾患であるという意味を含んでおり、急性下肢虚血とは区別されなければならない。(グレードC)

### 急性下肢虚血(ALI:Acute Limb Ischemia)の定義

急性下肢虚血とは、原因を問わず肢切断に至る可能性がある下肢の血流の急激な減少である。

通常、その症状は、急性イベントに引き続き2週間にわたって続く。

# 間歇性跛行の治療アルゴリズム



William R. Hiatt Medical Treatment of Peripheral Arterial Disease and Claudication.  
N Engl J Med 2001; 344:1608-162  
Copyright © 2001 Massachusetts Medical Society. All rights reserved.  
Translated with permission.

# WIQ(Walking Impairment Questionnaire)

## WIQの特徴

WIQは、ASOに伴う間歇性跛行患者に対して歩行時における不快感の原因と程度、患者の歩行距離、歩行速度、階段を上がる能力を評価する疾患特異的な質問票である。この質問票からは、Treadmill運動負荷試験では得られない日常歩行に関する情報が得られる。

## WIQの構成

項目	スコア化
1. 歩行障害	-
A. 下肢血行障害による症状	-
痛む足はどちらか?	-
歩行に影響した程度は?	○
B. 鑑別診断	-
2. 歩行距離	○
3. 歩行スピード	○
4. 階段を上がること	○

決められたスコアリング法に基づき4種類のスコアが計算される。0~100でスコア化され、高い値ほど状態が良いことを表す。

# 閉塞性動脈硬化症(ASO)の重症度

## Fontaine分類

ASOの重症度に病期と症状を結びつけたものとして一般的に用いられている分類方法。

重症度	分類 (Stage)	症状 (Symptom)	対策
軽症	I	症状なし (Asymptomatic)	危険因子の除去 (食事・薬物・運動) 進行予防の治療 (薬物療法) フットケア
中等症	IIa	軽度間歇性跛行 (Mild Claudication)	同上 運動療法・薬物療法 PTA治療、バイパス治療考慮
	IIb	中度～重度間歇性跛行 (Moderate-Severe Claudication)	
重症	III	安静時痛 (Ischemic rest pain)	PTA治療 バイパス治療考慮 血管新生療法の試み
	IV	壊疽、虚血性潰瘍 (Tissue loss or ulceration)	

(多田祐輔 監修:閉塞性動脈硬化症診断の実際—末梢循環器障害の診療指針—, IV. 治療①: 治療選択基準と実際の実際[松尾汎]29ページ 文光堂, 東京, 2001)



## 分類

## Rutherford分類

ASOの重症度を臨床的・客観的に組み合わせた分類法。Fontaine分類よりも詳細に検討する際に用いられる。

ステージ (Grade)	カテゴリー (Category)	症状 (Symptom)	客観的基準
<b>0</b>	0	症状なし (Asymptomatic)	Treadmill Stress Test 正常
<b>I</b>	1	軽度間歇性跛行 (Mild Claudication)	Complete Treadmill Test: 運動後APIは50mmHg以上 で安静時に比し20mmHg 以上下降する
	2	中度間歇性跛行 (Moderate Claudication)	細分類1と3の間
	3	重度間歇性跛行 (Severe Claudication)	Treadmill Test不可能、運 動後APIは50mmHg未滿
<b>II</b>	4	安静時痛 (Ischemic rest pain)	安静時APIは40mmHg未 滿、足関節部や足背部で PVRはほとんど平坦、TPIは 30mmHg未滿
<b>III</b>	5	壊疽、虚血性潰瘍 (Tissue loss or ulceration)	安静時APIは60mmHg未 滿、足関節部や足背部で PVRはほとんど平坦、TPIは 40mmHg未滿
	6	壊疽、虚血性潰瘍 (Tissue loss or ulceration)	細分類5と同様

PVR(Pulse Volume Recording)：容積脈波測定

TP(Toe Pressure)：収縮期足趾血圧

AP(Ankle Pressure)：収縮期足関節血圧

Complete Treadmill Test：傾斜12%、速度2mph=3.2km/時、5分間

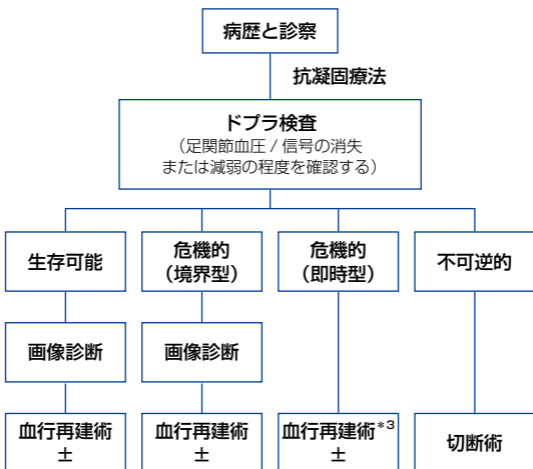
(多田祐輔 監修:閉塞性動脈硬化症診断の実際—末梢循環器障害の診療指針—, I.閉塞性動脈硬化症の概念[松尾汎]3ページ 文光堂, 東京, 2001)

# 急性下肢虚血(ALI)の評価と治療

## ALIの評価

脈拍の触診や身体所見は精度に欠けるため、ALIが疑われる患者はすべて、ドプラ信号の有無を確定するために、症状発現後速やかに末梢の脈拍をドプラで評価するべきである。(グレードC)

## ALIの治療アルゴリズム



\* 3 施設によっては画像診断を行う

# 末梢動脈疾患患者の評価基準

## ABI(Ankle Brachial Index)の 算出方法と評価基準\*4

### 【算出方法】

$$\text{ABI} = \frac{\text{足首最高血圧}}{\text{上腕最高血圧 (左右どちらか、高い方の血圧をとる)}}$$

### 【評価基準\*4】

ABI < 0.9	動脈閉塞の疑いがある
ABI < 0.8	動脈閉塞の可能性が高い
0.5 < ABI < 0.8	動脈閉塞が1箇所はある
ABI < 0.5	動脈閉塞が複数箇所ある

## TBI(Toe Brachial Pressure Index)の 算出方法と評価基準\*4

### 【算出方法】

$$\text{TBI} = \frac{\text{足趾最高血圧}}{\text{上腕最高血圧 (左右どちらか、高い方の血圧をとる)}}$$

### 【評価基準\*4】

TBI ≥ 0.6	正常
TBI < 0.6	異常

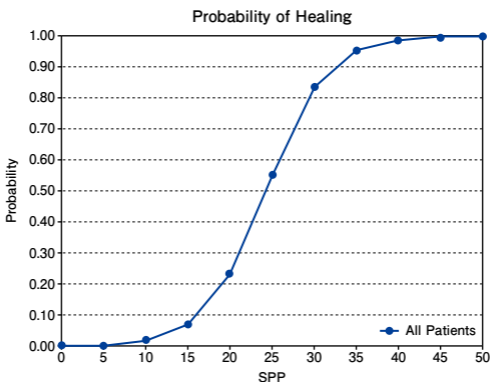
\*4 ABI, TBIとも AHA Medical/ Scientific Statement 1993 による

# 末梢動脈疾患患者の評価基準

## SPPの算出方法と評価基準

レーザードプラによる皮膚赤血球濃度検出法にて皮膚血流測定を行い、皮膚灌流圧(SPP:Skin Perfusion Pressure)を測定することができる。

下は、ロジスティック回帰分析によって求めたASO患者の足背あるいは第一趾のSPPと、治癒の確率相関図である。この結果から、**SPP $\geq$ 30mmHgであれば、85%の確率で治癒が可能、SPP $\geq$ 40mmHg以上でほぼ治癒可能であると考えられる。**





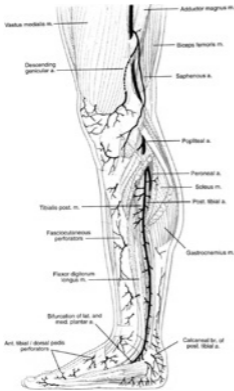
## アンギオソム(Angiosome)

死体サンプルの標的血管に色素を注入することによって組織を染色し、標的血管の還流領域を写真または図で示したものがアンギオソムである。これにより、源血管が体内組織のどの部分に血液を供給しているのかが示される。潰瘍などの病変部から血行再建術の対象血管が推測、血行再建術の際に有用となる。

1987年にTaylorらが発表。下肢アンギオソムについては、Attingerらによる2006年の報告が詳しい。



前脛骨動脈のアンギオソム



後脛骨動脈のアンギオソム



外側足底動脈のアンギオソム

## 用語集

A	AAA	abdominal aortic aneurysm	
	ABI	ankle brachial index	
	ACT	activated clotting time	
	ALI	acute limb ischemia	
	amputation		
	assisted primary patency		
	ASO	arteriosclerosis obliterans	
	ATA	anterior tibial artery	
	B	BK(BTK)	below the knee
		BX stent	balloon expandable stent
C	Cardio disturbance syndrome		
	CAS	carotid artery stenting	
	CC	common carotid artery	
	CEA	carotid endarterectomy	
	CFA	common femoral artery	
	CLI	critical limb ischemia	
	CIA	common iliac artery	
	conformability		



腹部大動脈瘤

足関節上腕血圧比

活性凝固時間

急性血栓性下肢動脈閉塞

切断術。アンピュテーション、アンブタ。

治療部の開存を保つため、何らかの治療が追加された場合。  
再狭窄に対する治療も含む。

閉塞性動脈硬化症

前脛骨動脈

下肢動脈の膝下領域の血管(膝窩(シッカ)動脈、前脛骨動脈、腓骨(ヒコツ)動脈、後脛骨動脈)

バルーン拡張型ステント(ステンレスやコバルトクロム製ステントが対象)

腎動脈狭窄症が関連する病態のひとつ。  
不安定狭心症や急速なうっ血性心不全など。

頸動脈ステント留置術

総頸動脈

頸動脈内膜剝離術

総大腿動脈

重症下肢虚血

総腸骨動脈

血管追従性

# 用語集

C	cross over sheath	
	CTO	chronic total occlusion
D	debridement	
	DES	drug eluting stent
	DFA	deep femoral artery
	distal embolization	
E	DS	diameter stenosis
	DSA	digital subtraction angiography
	DUS	Doppler ultrasound
	EC	external carotid artery
E	EPD	embolic protection device
	EDV	end diastolic velocity
	EIA	external iliac artery
F	EVT	endovascular therapy
	Fontain分類	
	FFR	fractional flow reserve
I	IC	intermittent claudication
	IC	internal carotid artery

対側の大腿動脈から穿刺を行い、総腸骨分岐部を通過して対側の腸骨動脈近位部まで到達するシースのこと。

慢性完全閉塞病変

創傷清拭、創面切除。感染、壊死組織を取り除く手術。  
デブリ、デブリードマン。

薬剤溶出型ステント

深大腿動脈

末梢塞栓

血管径狭窄度

骨やその他の器官などの余計な像を差し引くことで、造影剤が注入された血管のみを高いコントラストで見ることができる血管造影法。

ドップラーエコー

外頸動脈

末梢塞栓防止器具

拡張末期血流速度

外腸骨動脈

血管内治療

ASO(閉塞性動脈硬化症)の診断基準。  
臨床症状による患肢の血流不全の程度を予測する分類。

血流予備量比

間歇性跛行

内頸動脈

# 用語集

I	IIA	internal iliac artery
M	MAE	major adverse event
N	non-stenting zone	
	PAD	peripheral artery disease
	Pero. A	peroneal artery
	Pop. A	popliteal artery
	PPI	percutaneous peripheral intervention
	primary patency	
P	PSV	peak systolic velocity
	PSVR	peak systolic velocity ratio
	PTA	percutaneous transluminal angioplasty
	PTA	posterior tibial artery
	PTRA	percutaneous transluminal renal angioplasty
R	RAS	renal artery stenosis
	Rutherford分類	
S	SFA	superficial femoral artery
	secondary patency	

## 内腸骨動脈

## 主要有害事象

下記理由によりステント留置してはいけない部位(具体的には周囲の総大腿動脈、膝関節の膝下(シッカ)動脈)。

- ・股関節・膝関節などステントが変形、破壊される可能性が高い。
- ・バイパス術を行う際にバイパスの妨げになる。具体的には股関節。

## 末梢動脈疾患

## 腓骨動脈

## 膝窩動脈

## 経皮的末梢動脈インターベンション

※proton pump inhibitor(プロトンポンプ阻害薬)の略号でもある。

治療部位または近傍の開存が追加治療なく保たれている場合。

## 収縮期最大血流速度

## 収縮期最大血流速比

## 経皮的血管形成術

## 後脛骨動脈

## 経皮的腎動脈形成術

## 腎動脈狭窄症

ASO(閉塞性動脈硬化症)の診断基準。

Fontaine分類よりさらに細分化した客観的で再現性の高い分類。

## 浅大腿動脈

治療部完全閉塞に対する追加治療が加えられ、開存が保たれている場合。

## 用語集

S	SPP	skin perfusion pressure
	SX stent	self-expanding stent
T	TASC分類	Trans-Atlantic Inter-Society Consensus
	TBI	toe brachial pressure index
	TLF	target lesion failure
	TLR	target lesion revascularization
	TVF	target vessel failure
	TVR	target vessel revascularization
V	V.A.C.	Vacuum assisted closure

皮膚灌流圧

自己拡張型ステント

下肢閉塞性疾患に対する外科的治療か血管内治療かの選択の指針。  
部位や閉塞の形でA～Dの4つに分類。

足趾(ソクシ)/上腕血圧比

標的病変不全

標的病変部再血行再建

標的血管不全

標的血管再血行再建

難治性創傷を密封し陰圧をかけて創傷の保護、肉芽形成の促進、滲出液と感染性老廃物の除去を行う治療機器の名称。V.A.C. ATS 治療システム。  
通称、バック。

# 压力表示换算表

kgf/cm <sup>2</sup>	PSI	Atm
1	14.22	0.9678
0.07031	1	0.06805
1.0332	14.7	1

PSI → kgf/cm <sup>2</sup> → Atm		
10	0.7	0.7
20	1.4	1.4
30	2.1	2
40	2.8	2.7
50	3.5	3.4
60	4.2	4.1
70	4.9	4.8
80	5.6	5.4
90	6.3	6.1
100	7	6.8
110	7.7	7.5
120	8.4	8.2
130	9.1	8.9
140	9.8	9.5
150	10.6	10.2
160	11.3	11.0
170	12	11.6
180	12.7	12.3
190	13.4	12.9
200	14.1	13.6

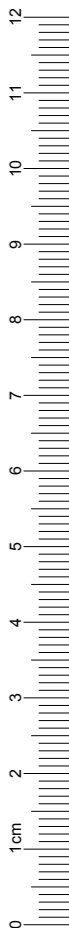
Atm → PSI → kgf/cm <sup>2</sup>		
1	15	1.0
2	29	2.1
3	44	3.1
4	59	4.1
5	74	5.2
6	88	6.2
7	103	7.2
8	118	8.3
9	132	9.3
10	147	10.3
11	162	11.4
12	176	12.4
13	191	13.4
14	206	14.5
15	221	15.5
16	235	16.5
17	250	17.6
18	265	18.6
19	279	19.6
20	294	20.7



# サイズ換算表

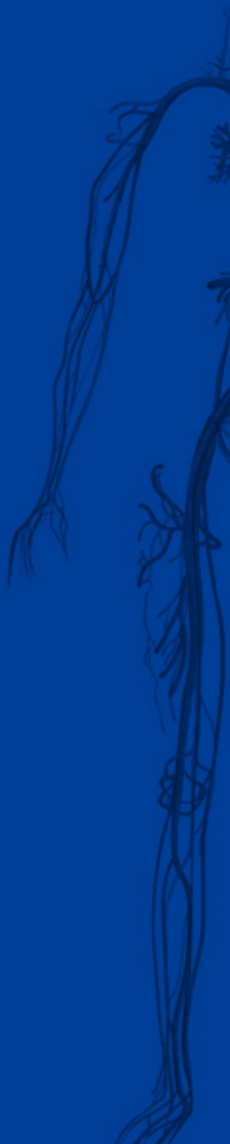
FRENCH SIZE	INCHES	GAUGE	mm
	0.004	36	0.10
	0.005	35	0.13
	0.007	34	0.18
	0.008	33	0.20
	0.009	32	0.23
	0.01	31	0.25
	0.012	30	0.30
1	0.013	29	0.33
	0.014	28	0.36
	0.016	27	0.41
	0.018	26	0.46
	0.02	25	0.51
	0.022	24	0.56
	0.025	23	0.64
2	0.026	-	0.66
	0.028	22	0.71
	0.032	21	0.81
	0.035	20	0.89
3	0.039	-	1.00
	0.042	19	1.07
	0.05	18	1.27
4	0.053	-	1.35
	0.059	17	1.50
	0.065	16	1.65

FRENCH SIZE	INCHES	GAUGE	mm
5	0.066	-	1.68
	0.072	15	1.83
6	0.079	-	2.00
	0.083	14	2.11
7	0.092	-	2.34
	0.095	13	2.41
8	0.105	-	2.67
	0.109	12	2.77
9	0.118	-	3.00
	0.12	11	3.05
10	0.131	-	3.33
	0.134	10	3.40
11	0.144	-	3.66
	0.148	9	3.76
12	0.158	-	4.00
	0.165	8	4.19
13	0.17	-	4.32
	0.18	7	4.57
14	0.184	-	4.67
	0.195	-	4.95
15	0.197	-	5.00
	0.203	6	5.16
16	0.21	-	5.33




## MEMO





## テルモ株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1  
[www.terumo.co.jp](http://www.terumo.co.jp)

 **TERUMO** はテルモ株式会社の商標です。

©テルモ株式会社 2018年11月

18T436-1CB2.5CB1811